

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①学力向上進学重点校エントリー校として学力向上と高いレベルでの進路希望実現に向け適切な教育課程を編成するとともに、不断のカリキュラムマネジメントにより授業改善・教育活動の充実に取り組む。</p> <p>②知識の習得とともに、生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、自ら課題を発見し解決する探究力や思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を通じ達成感を得ることで生徒の自己肯定感を高め、成長を促す。</p>	<p>①高いレベルの進路希望の実現を目指す生徒にとってよりよい教育課程が編成できるよう検証を進める。高いレベルの進路希望実現のため教科横断的・計画的に授業改善を行う。</p>	<p>①年間授業改善計画に基づき、教科会・授業見学・職員研修会・「生徒による学習の自己評価」・公開研究授業・学習成果の発表会等を実施する。また実用英語技能検定を準会場にて実施するとともに国内短期語学研修を実施する。</p>	<p>①「生徒による授業評価」「生徒による学習の自己評価」の結果、英検の取得状況、語学研修参加者の満足度、各種職員研修会の振り返り・相互評価等。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①学校生活の様々な場面で社会規範や自己管理能力等社会人として必要な資質を身に付けさせる「人づくり」を行う。</p> <p>②部活動を通じて社会性や自主性、協調性を涵養するとともに、達成感を得ることで生徒の自己肯定感を高め、成長を促す。</p> <p>③生徒一人ひとりの個に応じた組織的な教育相談体制を充実させる。</p>	<p>②異年齢との交流を通して、生徒同士や教員と生徒等の人間関係を構築し、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高められるよう効果的な指導を行う。</p> <p>③相談体制の充実とともに、サポートドックとの連携、SC・SSWとの円滑な連携による支援体制の充実を図る。</p>	<p>②顧問総会や部活の日などを通じて、部活動の意義、チームや個人の目的、目標を考える機会を作る。また、部活動内のコミュニケーションを促し、部活動継続率の向上を図る。</p> <p>③サポートドックを活用するための研修の実施やSC・SSWを交えてのサポート会議等充実を図り、より円滑な支援体制を構築していく。</p>	<p>②顧問総会や部活の日を通じて学校目標の共有が図れたか。（顧問アンケート）部活動継続率が向上したか。</p> <p>③一部の生徒・職員だけでなく、多くの生徒・職員に対してSC・SSWとサポートドックの連携・活用ができていくか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①国際社会や地域社会で活躍できる高い資質・能力を持った人材を育成するため、学校外の教育力も活用してキャリア教育、グローバル教育を充実させる。</p> <p>②生徒が行きたい進路先に行けるよう、体系的な3年間の進路指導プログラムを計画・実践するとともに、適切な支援を行い、高いレベルでの進路希望を実現させる。</p>	<p>②生徒に進路先を調べる上でより難関と言える選択肢を提供し、モチベーションを上げる。その結果生徒が、自発的に努力できるよう働きかける。</p>	<p>②大学訪問・大学出張講義等を通じモチベーションを上げ、外部試験などを導入することで、着実な学力を身につけさせる。</p>	<p>②卒業時のアンケートや進路先などで高いレベルでの希望が実現したか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域や家庭との連携・協働による教育活動を推進し、地域・家庭の期待や信頼に応える学校づくりを進める。</p> <p>②学校の魅力や特色及びスクールポリシー等学校の情報を積極的に外部へ発信する等広報活動に努め、本校の求める生徒像を明確にするとともに、ミスマッチを未然に防ぎ本校で学びたいと望む志願者を増やす。</p>	<p>②学校の魅力を多くの方に周知できる学校HPを最大限に活用し、タイムリーに学校行事や本校の取組について積極的に情報を発信していく。</p>	<p>②HPの記事掲載方法について、情報発信の手続きを簡素化するとともに、教員の負担を軽減し、タイムリーな情報を発信できるようにする。</p>	<p>②情報発信の手続きの簡素化や、教員の負担軽減、タイムリーな情報発信ができるようになったか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①日常的な研修や声かけを通じ「北陵から事故を出さない」という強い気持ちを持ち職員一人ひとりの危機管理意識を高め、業務の共有・協働・効率化を進め、不祥事を防止する。</p> <p>②生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう学習環境や防災体制の整備に取り組む。</p> <p>③円滑で効率的な学校運営のため常に業務の検証、改善を図り、風通しのよい職場づくりを進めるとともに、教員の働き方改革に取り組む。</p>	<p>③円滑な学校運営に向け、グループ業務の整理を行うとともに、組織を見直すなど働き方改革に取り組む。</p>	<p>③業務移管等により分掌業務の見直しを行う。また、現在の分掌の在り方について検討していく。</p>	<p>③組織改革や働き方改革ができたか。（教員間評価）</p>